

丹羽真一 病院事業管理者 着任

高地英夫病院事業管理者が任期満了により退任され、後任に福島県立医科大学会津医療センター準備室教授の丹羽真一先生が、新たに病院事業管理者として着任されました。任期は、平成 24 年 11 月 2 日から 4 年間です。

丹羽新病院事業管理者 就任あいさつ

11 月 2 日付で福島県病院事業管理者に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

現在の県立病院を取り巻く状況において、私は県立病院の経営改善のほか、会津医療センター開設後の県立病院との交流、大野病院の将来計画と相双の医療確保、県立病院の医師確保・看護師確保など医療人の確保・育成などの大きな課題に取り組むことが必要であると理解しております。これまでも、関係者や職員の皆さんの御努力などにより、県立病院の改革は相当に進んでまいりましたが、来年度からの医療計画は国による 5 疾病 5 事業の方針に沿ったものとしていかなければならず、県立病院の事業もこの新しい動きに沿って更に改革を進めることが求められております。

また、3 月 11 日の震災と引き続く原発事故から 1 年 7 か月が経過しましたが、震災関連死は 9 月末までに全国で 2,303 人、うち福島県内は 1,121 人と約半数に達し、しかも福島県では減少傾向が見られない特徴があると指摘されております。福島県の 15 歳以下の小児人口は平成 23、24 年で合計約 24,000 人減少しており、将来の福島県の担い手が大きく減少している事実は深刻な問題であります。福島県民は震災・原発事故からの復興を目指そうとしていますが、様々な困難を抱えています。この数年間が福島復興の進展にとって重要な節目の時期であると思います。

県立病院の種々の事業もこうした切迫した現状の中で進められねばならないという意味で、緊張感と強い意志を持って取り組む必要があります。私もそのような緊張感と強い意志を持って進んでいきたいと考えております。



県立病院の現場の職員の皆さんも同様なお気持ちで日々の仕事をしておられると思いますが、県民の期待が強いだけに現場の職員の皆さんが背負っている負担も大きいことでしょう。私の会津総合病院での短い経験からもそのように感じております。

県立病院の事業が首尾よく進んでゆくためには、県民の気持ちと感情をよく汲み取り、共に進むスタイルが必要です。福島県が特別な時期にある中で、私たちに課せられた課題を職員一丸となって遂行していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

平成 24 年 11 月 2 日

丹羽 真一

会津医療センター整備工事 進捗状況 ～H25 年 5 月開所へ向けて～

平成 23 年 10 月状況 進捗率約 30%

- 免震装置の設置工事を実施。
- 1 階の床や柱のコンクリート工事を施工中。



1 年後こんなに出来あがりました！！

平成 24 年 10 月状況 進捗率約 80%

- 9 月に 1 階～6 階までの躯体工事（柱や床の設置）が終了。
- H25 年 3 月末の完成へ向けて内装工事等を実施しています。



発行 病院局病院経営改革課

〒 960-8043 福島県福島市中町 8 番 2 号（自治会館 4 階）

TEL : 024-521-7228 FAX : 024-521-7924

e-mail : kenritsubyouin@pref.fukushima.jp